

第13回 阪神高速事業アドバイザー会議 議事概要

1. 日時：2022年11月2日（水） 10:00～11:30
2. 場所：中之島フェスティバルタワー会議室
3. 出席者：浦西委員、河合委員、正司座長、関委員、中浜委員、松坂委員、矢野委員
(50音順)
4. 議事要旨：
 - 「議事(1)第11・12回議事概要」について説明。
 - 「議事(2)2021年度決算報告」「議事(3)2022年度の事業実施状況・トピックス」について、それぞれ事務局より説明後、委員より以下のとおり意見が出された。
 - *ネットワーク整備において、既存路線と新規路線を繋げる際に分合流の形状が複雑になることがある。スペースの制約などもあると思うが、お客さまが走りやすい道路を目指してほしい。
 - *ETC通行であっても料金所では減速して走行するため、料金所においてドライバーに交通安全を呼びかける表示などの検討をお願いしたい。
 - *リニューアル工事については、視覚的にわかりやすく丁寧な広報ができています。
 - *更なるお客さま満足度アップに向けて、高齢者のバリアフリー対応や、小さなお子さま対応等、多様なお客さまが安心してご利用いただけるPAの案内表示に取り組んでほしい。
 - *広報について、Twitterのハッシュタグ機能や、Facebookのリマインダー機能をうまく活用できている。
 - *ETCやGPSを駆使し、例えば短区間利用がしやすい料金の在り方など柔軟に検討してほしい。
 - *自動車のEV化進展に伴い車両が今よりも重くなることで、高速道路の損傷が加速することも考えられる。車両重量を加味した料金設定の在り方、若しくは高速道路事業への自動車重量税活用について検討してほしい。
 - *人手不足・物資不足の問題に関して、将来の高速道路事業に大きな影響を及ぼさないよう備えることが重要ではないか。
 - *落下物処理対応のような危険な作業について、将来的には機械化を行う等、作業員のリスク軽減に努めてほしい。
 - *大阪・関西万博の開催に向けて、万博協会と連携を密にし、渋滞情報の提供など、正確な交通情報をお客さまに届けることで、万博交通と一般交通円滑化に努めてほしい。
 - *その他、ETC専用料金所の運用状況、リニューアル工事の渋滞対策、ランサムウェア対策等に関して質疑応答があった。

第14回 阪神高速事業アドバイザー会議〔現場視察〕 実施概要

1. 実施概要

- 1) 開催日：2023年4月27日（木） 13：15～17：30
- 2) 視察場所：① 淀川左岸線(2期)工事現場
② 14号松原線喜連瓜破工事現場
- 3) 出席者：河合委員、正司座長、関委員、中浜委員（50音順）

2. 開催状況

① 淀川左岸線(2期)工事現場

左岸線全体概要について説明の後、海老江工区・豊崎工区施工状況、大阪市施工区間を視察。

② 14号松原線喜連瓜破工事現場

情報館において工事概要について説明の後、屋上テラスにて橋梁撤去工事を視察。



〔淀川左岸線(2期)工事現場 視察状況〕



〔喜連瓜破工事現場 視察状況〕

また、現場視察後に意見交換会を行い、委員より以下の意見が出された。

*淀川左岸線について、全体的に丁寧に施工されていると感じた。また、万博時に仮設道路としてシャトルバスをどのように通すのかよく分かった。堤防についても、十分な強度で作られていて安心した。

*淀川左岸線については、施工場所と家屋が近接している箇所もあり、近隣の方々へのフォローは引き続き丁寧に行っていただきたい。

*喜連瓜破の現場を直に見て大勢の作業員が働いている現場とは思えない程きれいで整然とされていた。5月中旬から行われる神戸線等のリニューアル工事にも注目している。

*喜連瓜破では情報館で説明を受けたが、イベントを催したり、構造物の一部を触る体験ができたりと工事内容等の可視化が進んでおり、中期経営計画で記載されていた“地域との連携”が行われていると感じた。